

環境における中長期目標「ファミマ eco ビジョン 2050」 2030年“温室効果ガス（CO2）削減目標”を50%に上方修正

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介）は、環境問題をはじめとする社会課題の解決や持続可能な社会の実現に貢献するため、2030年及び2050年に向けた中長期目標として「ファミマ eco ビジョン 2050」を策定し、目標達成に向けた取り組み推進を目指しております。

このたび、日本政府の方針に賛同し、2030年の店舗運営における温室効果ガス（CO2）排出量の削減目標を50%（2013年対比）に引き上げましたので、お知らせいたします。

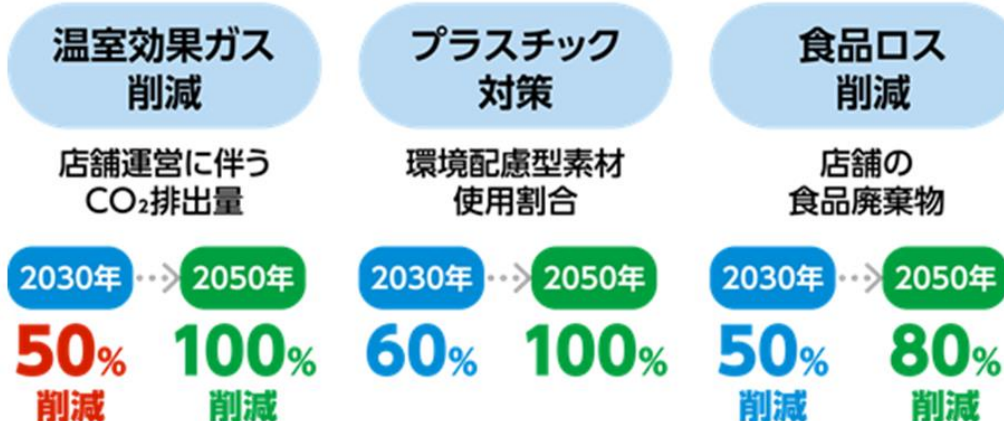
	修正目標	当初目標
2030年 温室効果ガス（CO2） 排出量の削減目標	50%	40%

※2050年の目標（2013年対比100%）は、変更ございません。

「ファミマ eco ビジョン 2050」では、店舗運営にともなう「温室効果ガスの削減」をはじめ、「プラスチック対策」、「食品ロスの削減」の3つのテーマに基づき、中長期的な数値目標を設定し、目標達成に向けた取り組みを推進しております。また、店舗運営以外の物流の分野においても、クリーンディーゼル車の導入やEV配送車等を導入するなど、チェーン一丸となってCO2削減に取り組んでおります。

ファミリーマートでは、今後も、太陽光発電による再生可能エネルギーの使用や省エネ器機の導入等を通じ、CO2の削減に取り組んでまいります。

「ファミマecoビジョン2050」



ファミリーマートは、今年創立 40 周年を迎えます。これからも「あなたと、コンビニ、ファミリーマート」のもと、サステナビリティ活動を一層進化させ、社会とともに持続的な成長を実現してまいります。

以上